

平成28年度 第3回 電子デバイス事業化フォーラム 開催報告

今話題で研究開発が急激に加速している「人工知能(AI)の技術動向」について取り上げ第3回電子デバイス事業化フォーラムを開催しました。このフォーラムは、中国地域の電子産業分野の企業が多数集積する備後地域を中心に、電子デバイス関係技術の更なる伸張と、最新情報の交換、技術交流を通じた地域のネットワークの拡充を図ろうとするものです。

産業技術総合研究所の関口領域長より、人工知能の現在に至るまでの歴史や人工知能技術の先端事例について説明いただくとともに、企業の経営において将来人間社会にどのような影響を与えるかまで踏み込んでご講演いただきました。日本アイ・ピー・エム株式会社の元木理事より、今話題のワトソンを活用した企業とのプロジェクトの事例紹介を中心に、IBMの人工知能への取り組みについて今後の方向性も含めてご講演いただきました。大学のシーズ紹介では、岡山県立大学の岩橋教授から、ロボットによる言語と動作の学習について動画と音声を交え分かり易くご発表いただきました。多くの方にご参加いただき、各内容とも大変参考になったと好評の声を多くいただきました。

【開催概要】

日 時 平成28年 11月 12日(土) 13:30~17:00
場 所 ポリテクカレッジ福山 (広島県福山市北本庄4-8-48)
主催等 主催:公益財団法人ちゅうごく産業創造センター/中国経済産業局/備後半導体技術推進連合会
共催:福山職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ福山)
参加者 83名

【プログラム】

【司会:(公財)ちゅうごく産業創造センター コーディネーター 名雪 稔】

- (1) 開催挨拶 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター
- (2) 基調講演
題 目 「データから価値を生む時代 ~人工知能・IoT・ビッグデータなど~」
講 師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 領域長 関口 智嗣 氏
- (3) 講演
題 目 「IBMの人工知能への取り組み」
講 師 日本アイ・ピー・エム株式会社 ワトソン・ソリューション担当 理事 元木 剛 氏
- (4) 研究シーズ紹介
題 目 「ロボットによる言語と動作の学習」
講 師 岡山県立大学 情報工学部 情報通信工学科 教授 岩橋 直人 氏
- (5) 閉会挨拶 備後半導体技術推進連合会 副会長 藤井 修逸

【会場風景】



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://ringring-keirin.jp>